

The gazette of International University of Health and Welfare



走れ！医療福祉のゴール目指して！！

特集

インタビューシリーズ 副学長・医療福祉学部長・医療経営管理学科長 開原成允 教授
運動会
社会人からの挑戦
コラム ～ 微笑みの架け橋 ～



発行：学校法人国際医療福祉大学 平成13年6月11日
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp/>

開原先生 インタビュー



平成十三年五月十五日収録
(聞き手：宮尾洋子・広報委員長)

……本日はお忙しいところありがとうございます。開原成允先生は今年度から本学の副学長、医療福祉学部長、医療経営管理学科長と、大変な要職にお就きになられたわけですが、本学にいらっしやるまでの経歴について、また、本学とどういうきっかけでお知り合いになられたか、こちらにいらっしやることになったのかお聞かせ下さい。



開原成允(かいばら しげこと)先生

開原……まず三つ兼務しているということについてですが、本当は、学部長は他の方にお願いで、もう少し大学全体のことについて専念したいのですが、医療経営管理学科の方も少しリキウム等を改革した方がいいと思うところもありますので、しばらくは兼務にさせていただきますことにしました。それから、これまでのことですが、私のバックグラウンドは内科医で、東大病院に中央医療情報部という部門があるのですが、その部長兼教授をやっております。東大病院には、医学部を卒業してから定年の六十歳までかなり長い間おりました。その後、国立大蔵病院を四年間務めました。そこでは、成育医療センターという名前の新しいナショナルセンターを創設するという厚生省のプロジェクトに携わっていました。「成育医療」というのは新しい言葉で、簡単に言うとお母さんと子供との医療ということですね。そこが開院するのは来年ですが、大きな路線は引けたので、この病院は後輩の小児科の先生にお願いして、その後、「医療情報システム開発センター」という、厚生省と通産省の共管の財団の理事長としております。その間に兼務という形でこの大学の教授、正確に言う

と国際医療福祉研究所の教授を一年間やらせていただきました。いわば見習期間を一年間経て、今年から先程おっしゃっていた副学長兼医療経営管理学科長ということで参りました。

……まだこちらのキャンパスにおいでになって日も浅いことですが、着任されて以来、本学、また本学の学生についてどのような印象をお持ちでしょうか？

開原……そうですね、一言で言えば、大変真面目で純真な学生さんが集まっているな、というのが率直な印象ですね。最近、特に若い世代の人達は色々問題があるというふうな事を言われておりますが、そういう世相に合わせて考えてみますと、本学の学生さんは実に人柄のいい学生が多いという感じがしますね。ただ、もうちょっと覇気があってもいいかなとは思っています。一般的に最近の学生は、自分で何かをやっているという気が乏しいと言われていますが、多少そういう感じがいたします。尤もこれは医療経営管理学科だけのことなかもありません。他の学科の学生さんとはまだ十分接する機会がなかったたので分りませんが、他の学科の学生さんは、もう少し自分でいるんな事をやっつけていこうという気力に溢れているのかもしれないですね。

……教育に関してのご経験はいかがですか？

開原……東大の頃は教授として医学部の学生は教えておりました。医学部の教員というのは医者と教育職とを兼務しているのです。教育者が医者を兼ねているというのが正確な言い方かもしれません。大学附属病院というのは、本来は教育のためにある病院なのです。

……私も本学で開学以来教えさせていただいて7年目になるのですが、中にいるとだんだん慣れてまいります。気付かぬ問題も多々あるかと思ひます。今回新たに先生がいらして、外部からの新鮮な目で先生がなっているか改善した方がいいのか、問題点は見えていらっしやいますか？

開原……まだそういう点が見えるところまで来ていないのです。と言つても、実際に接しているのが医療経営管理学科の人達だけのことや、他の学科がどうなっているのかということや、他の私立大学がどんな感じなのかということなどはあまり分かっていないので、これから勉強しないとダメなところ

ています。ですから、本学がどうだというのは口幅ったくても言えないといったところですね。

……先生は今お講義はどのような科目をなさっておりますか？

開原……今は大学院と学部の方を教えているのですが、これも、医療情報学という講義をします。これは、今のところは選択科目ですが、たくさんの方が履修していますね。これからは情報に強い学生を作らないと就職もよくないということもあります。採用する側に向つてみては情報に強い学生が欲しいなというところをよく言われますので、ぜひそういう学生になってもらいたいですね。

……先生は、情報のことをずっとやっていらしたと伺っていますが、情報をやっていたというのはどういうことですか？例えばコンピュータを駆使するとか？

開原……最近の病院の中にコンピュータセンターがありますね。そのコンピュータセンターがお金の計算から診察室で医師の手助け、それに検査の運用など、病院の実務を全部行っているのです。私の仕事は、そういうコンピュータシステムを作ったり、運営をしていました。

……先生はいつ頃から情報に興味をお持ちになられたのでしょうか？

開原……その質問はよく受けるのですが、人が何かを始めるのには、偶然と必然とがあると思つてますね。私の場合は半々というところですね。私は、医学部へ行こうか工学部へ行こうか迷つたくらい、技術系の方が好きだったということが必然の方ですね。それから、私がアメリカでコンピュータを使った研究をして帰ってきた一九七一年、ちょうど東大病院をコンピュータ化したというプロジェクトが始まったのです。当時はまだ、コンピュータを使える人があまりいなかったもので、手伝うことになりました。その頃は、自分がそれを生涯の仕事にするとは思わなかったのですけれども、それが偶然といえれば偶然ですね。やっつけているうちに、だんだんと深みにひきこまれて、とうとうそれを専門とするようになりました。

……一九七一年というコンピュータ時代の

本当に最初の頃ですよ。

開原……そうですね。三十年前になりますが、その頃はコンピュータを医療の世界で使おうなんて誰も思っていなかった時代で、非常に反対も強かった大変な時代でしたね。

……アメリカではコンピュータは研究のために使われていたんですか？

開原……自分で使っていたのは研究面ですが、アメリカで病院の運用にコンピュータが使われ始めたところは見ていました。コンピュータを使うところという風になるのかというイメージはもっていました。

……今のPCは小さくなりましたが、その当時のハードは大きかったですよね。ソフトなどはご自分でお作りになるのですか？

開原……全て自分で作るわけではなくて、大部分はメーカーの人に作ってもらうのですが、こういうものを作ってくれということ自体が大変でした。

……医療の場での情報化というのは、全部先生がプロジェクトを組んでなさったということですか？

開原……ええ。そのときはあまりやる人がいなかった時代ですからね。

……では次に、本学の大学全体とが学部・学科に関して先生の抱負をお聞かせ下さい。

開原……まず、この大学のユニークさというものを大いに活かしていくべきではないかと思ひます。そのユニークさというのはどういうことかと言いますと、これだけ揃ったコメディカルの人達を教育しているという大学は、他にないですよ。それから、大学名に「国際」と「医療」と「福祉」という3つの言葉が付いていますね。「国際」と「医療」と「福祉」の三つがそれぞれ羽を伸ばしつつ融合し、足並みを揃えて発展するようにしていけば、非常に素晴らしい大学になるのではないかと思ひます。それから、この大学でいいなと思つたのは、学生の時から海外研修を奨励して、海外の経験を持たせるようにしているところですね。語学に堪能で、しかも自分の専門性をもつて、しかも情報技術にも強い卒業生になったら本当に素晴らしいことです。大学の遠隔授業など、新しい情報技術を駆使した施設が整っているのも心強いですね。

これはこれからもつと様々な利用方法を考えていくといいと思います。

しかし、この学生は何かと忙しいんですよ。国試や実習もありまして、本当に忙しいようで、語学を勉強する機会がなかなかないということなんです。初年度に比べますと必修の時間も減りましたので、その分選択科目を色々作ってみたいんですが、選択制にしますとなかなか履修してくれませんが、卒業に必要な単位以上のものは履修しなくても、という考えなのでしょう。志を持って入る人は何人かいて、そういう人はよく科目も取りますし、努力しますし、ネイティブの先生のところに行ってお話したりしていますね。ですが、大学全体からしますと、そういう人は少数です。余計なことはあまりしたくないという、だんだんそんな風になってきて、大変残念に思っております。

開原……人間というのは動機付けが一番大事ですからね。英語が出来ないとだめだということとが身にしみて分かるとやりだすのではないかと思います。



宮尾洋子(みやお ようこ)先生

そうですね。これは国際交流委員会では、昨年から大学のカリキュラムの科目になっておりますが、今年も四方国五ヶ所に研修生を出します。そこへ行きまして、東南アジア方面であっても、やっぱり英語が出来ないとだめだということとが分かって、帰ってきてから一生懸命に勉強し始めます。これが先生がおっしゃった動機付けということになるんですけども、そこに思い至るような経験を積むということがなかなか大変ではあるんです。

開原……この大学でもう一ついいなと思ったのは、実習用の施設を中持っていることですね。リハビリテーションセンターがキャンパスの中にありますよね。それから、国際医療福祉病院が新装されて、おそれから、これが教育・研究の場として、非常に大切になってくるのではないかと思います。最近

は看護学校などもたくさんできて、私はその創設時の審査に関わったこともあるのですが、実習の場が遠い所にしかないという学校もありますね。医療の世界は実務経験ができないとよい教育はできないと思えますね。ですから、実習の場を包含した形で大学が存在しているというのは、非常に大事なことだと思います。この学生は非常に幸福だと思えます。

それから、全ての学生が衛星放送を使った授業を受けることができるようになりましたね。これもまた素晴らしいことです。学生は非常にいい機会をたくさん与えてもらっているのですから、上手く活かさなければなりません。新しい技術の消化不良にならないようにがんばってもらいたいですね。

ただ、学生の経済面は問題ですね。アルバイト先、チャンスというものが都会ほどはない。それから時給もあまり高くないということもあります。もちろん生活のためにアルバイトをしなければならぬという学生もおりますし、遊ぶためとか旅行がしたいということでアルバイトをするという学生も多いと聞いています。学業と実習とアルバイトと、時間的に大変な生活をしているようです。

開原……私は、本当のことをいうと、アルバイトと学業は同時並行ではない方がいいと思っています。アメリカですと、ある一年間必死に働いてお金を貯めて、その後、学業に専念するという、同時並行ではなくて時間差でやるような学生が多いんです。本当の社会ではなかなかそういういいかたはないですね。日本社会では、履歴書の途中に空白があるのをいやがりたりしますが、そういう考え方はやめた方がいいと思います。この学生でも、一旦社会に出たら本学に入ってきた人達がかかりませんが、そういう学生の方がちゃんとした動機をもっている、良い学生も多いですね。特に医療の世界にはそういう方がいいのではないかなと思います。

……社会人の方はそれなりの問題意識もあり、生活を背負っているから大変な意気込みもあからね。ここで他の学生の牽引力として活躍しています。

開原……そういった学生がもっと増えてもいいのではないかと思います。大学というのは高

校から連続して入学して、四年で卒業するのがいいという価値観はなくなつて、一旦社会に出ようが何をしようが、本当に自分が勉強したいと思ったときに大学に入つて勉強するという社会に、日本も早くならぬかなと思つています。



やはり個人がやりたいことをやりたい時期にやるというふうな、そういう方向に動きつつあると思います。これからは個人が持っている能力とか特技を売るといふような、そういう時代に移行していく傾向にあるのではないかと思います。

開原……そういう意味では、この大学の卒業生に有利なのは、資格が取れるということですね。資格を持っているというところは、就職する際にも相手と対等にバーゲンできる可能性があるというところで、学生は大いにそういう点を強調していくべきかもしれませんね。

……これからこちらでお教え頂くと、そういうことが目につくようになられると思うんですけども、いわゆる「優良企業」にいた人が会社をやめて入学してきて、再び楽しみながら勉強して、ここでもいい成績を修めているという、なかなかいい感じですよ。

開原……そうですね。

……最後になりましたが、ご自由にお話し頂

開原……いえいえ、そんなことは全くありません。まず、家族のことを話しますと、家内も医者なんです。高校・大学と一緒にいた。家内は小児精神科の医者で、東京都の中央児童相談所で子供の福祉をやっています。子供の福祉問題を毎日聞かされているものです。今は色々問題のある時代ですから、福祉も奥の深い世界だということを感じております。それから娘が二人おりまして、二人ともエンジニアです。

スポーツは日本の古式泳法をやっています。神伝流というのですが、その師範、つまり免許皆伝です。私の高校に神伝流がずっと伝わってまして、そこで習って、大学時代に夏合宿をして師範をとりました。古式泳法と西洋の水泳とどこが違うかというところ、西洋の水泳は速さを競いますね。ですからプールで一生懸命早く泳ぎます。ところが、日本泳法は、「速さ」は関係なく、「型」を競います。自然と一体となつて楽しむという精神をもっているの、海でプカプカ浮いているには日本泳法の方がいいですね。今も時々海へ行って泳ぎます。昔は師範として教えました。今は夏に昔の仲間と泳ぎに行くときに、ちょっと教えたりする程度です。それからオペラを見るのが大好きです。ワグナーが特に好きです。外国へ行くとも必ず観に行くんなんです。

……先生、色々となさるので、天は二物を与えずなんて言いますが、そうではないようですね。医者であつて、情報にお強くて、古式泳法はできて、どうぞこれからもこの大学でのご指導を宜しくお願いします。本当にお忙しい中、楽しいインタビューをさせて頂きありがとうございます。



第6回 国際医療福祉大学 運動会

運動会 無事終了

第六回国際医療福祉大学運動会が五月二十六日(土)行われました。天気も何とか最後まで持ちこたえ、また重症のけが人もなく、無事予定通り?に終了しました。例年朝の学生の集まりが悪く、この点は学生各位の意識を改善していただきたいと思いますが、競技が進むにつれて人数が増えて盛り上がり、結果は僅差で放射線・情報科学科が二連覇を飾りました。

今年は一祭り保存会の方々によるデモンストレーションも加わり、メニユーに彩りが増えました。日頃講義や実習で運動不足の皆さんに、格好の運動の機会を提供できたと思います。実行委員の皆さんの努力には本当に敬意を表します。

(学生課)



ラジオ体操で・・・



ムカデ競争。倒れたら道連れです。



口を大きく開けて。



もうすぐゴール。頑張って!



声が聞こえてきそう。



優勝はRT。先生胸上げ。



必死に逃げ回る先生、群がる生徒・・・



みんなで、ぴーす。



学生も多数参加した与一踊り。



地域の方々も参加。

私は、実行委員として三回目、実行委員長としては二回目の笑運動会を開催するために、今年三月から五月二十六日の大会当日まで準備して来ました。私にとつて国際医療福祉大学の笑運動会とは、人生の中の重要な瞬間、生まれてから今までの間で人生の節目となつた重要な出来事です。新しい友人を作れたり、新しい価値観を学べたり、新しい事に挑戦する勇氣をもらえる出来事なのです。何か一つ目標を持って成し遂げるといふことは、人生の中で非常に意味のある事だと思ひます。

さて、今年の笑運動会は放射線・情報科学科の二連覇でしたが、二位の看護学科とは八点差と各学科の力の差が接近した結果でした。笑運動会は競技がすべてではなく、お昼休みの各学科によるオリジナルテイー溢れる応援合戦、与一踊りデモンストレーション、部活動によるPRリレーと見所はたくさんあるので、来年は是非、保護者の皆様にも見ただきたいと思ひます。

最後になりましたが、この第六回国際医療福祉大学笑運動会の関係者の皆様からこの場を借りて簡単ですが一言いいたく思ひます。皆さんの協力無しでは出来なかつたと思ひます。有り難うございました。



はじめて。放射線・情報科学科三年の渡部光昭です。

第六回 国際医療福祉大学笑運動会

国際交流

留学生・帰国生徒・海外生活経験者の集い

新入生を迎え、恒例となった集いが5月22日カフェテリア2階で開催され、理事長、学長のご挨拶に続き、初山大学院院長の乾杯の音頭で、交流の輪が広がりました。学生約30名、教職員35名、大田原国際交流会会長・副会長が出席、アトラクションに経営四年のデュオ“おんがく”の歌声を楽しみました。



本年度は、新留学生6名を加え学部留学生十二名、院生5名が在籍中です。平成九年度から始めた学部留学生支援のための有志教職員とご家族によるホストファミリー制度も定着しております。ここに、留学生、ホストファミリーの方をご紹介します。

劉建華 (PT4)・蔣讚奎 (PT3)
曹秀茹 (NS3)
高範守 (PT3)
劉惠林 (PT2)
陳紅 (OT2)
NGUYEN HIEN THI (NS1)
成命奇 (PT1)
陳曉菁 (PT1)
陳平 (PT1)
ARCHANA PRADHAN (HM1)
温祥青 (HS1)

秋山純和 (PT)・谷浩明 (PT)
城間将江 (ST)
大野節夫 (学生課)
黒澤和生 (PT)
菅原洋子 (OT)
斎藤恵子 (NS)
山崎統四郎 (RT)
黒澤美枝子 (MC)
細井良三 (IC)
伊藤元信 (ST)
新美成二 (言語聴覚センター)
(国際交流委員会委員長 田中美子)

日本病院管理学会 第196回例会を開催して

医療経営管理学科 教授 高橋淑郎



5月26日土曜日に、日本病院管理学会第196回例会が本学F101教室で開催されました。この例会は、実質の発表時間やディスカッションの時間が学会総会よりも長く取れるので、中味の充実した例会として認識されているものです。

今回は、本学が当番校として開催する3回目のものであり、これまでは東京で会場を借りて行なっていましたが、今回初めて本校で開催しました。参加人数は約80人で、地方開催の例会としてはかなりの参加を頂きました。

今回のテーマは「医療経営管理の専門教育はどうあるべきか」というものであり、日本で最初に設置された本学を始めとして、広島国際大学、川崎医療福祉大学、秀明大学、流通科学大学の5大学がカリキュラムの狙いや特色を示し、どのように教育しているかなどを発表しました。その後、教育を受けた学生を受け入れる病院側の考えを聞くために、済生会宇都宮病院院長、聖路加国際病院事務長、那須野が原菅間病院事務局次長といった方々から病院で欲しい人材、病院での教育などを発表して頂いた後に、フロアからの追加意見や質問をきっかけに議論が活発になされ、大学と病院などが密接に連携して教育していくプロセスの重要性や、医療と経営の分離を視野に入れた教育の必要性などが議論されました。

日本も漸く医療経営管理教育が本格的に始動してきたことを肌で感じ、この議論を継続して行なう必要性が実感された学会でした。多くの皆様のご協力で無事終了いたしました。

有難うございました。

シンポジウムでは活発に議論が交わされました。



大学説明会 & 体験入学(オープンキャンパス)

申込み不要 / 入退場自由

第1回 7月28日(土) [場所] 国際医療福祉大学

第2回 8月1日(水) [時間] 10:00 ~ 16:00

第3回 8月25日(土) [交通] 東北新幹線・JR東北本線「那須塩原駅」東口より無料送迎バス運行(当日は9時40分過ぎより20分間隔で運行)

プログラム	内容
総合ガイダンス 11:00 ~ 12:00	学長をはじめ、各学科別に教員が教育内容を説明いたします。入試概要の説明も行います。
体験入学 10:00 ~ 16:00	LL教室、情報処理室、各学科の実習室など自由に見学して下さい。授業をはじめキャンパスライフの様子を学生と教員から直接聞くことができます。
個別入試相談 10:00 ~ 16:00	入試はもちろん、入学後のことまで何でも相談OKです。お気軽にどうぞ!

なお、8/25(土)は社会人特別選抜入試(第1回)も同日実施!

出願期間: 8/6(月) ~ 8/17(金) 合格発表日: 9/13(金)

《お問い合わせ》 0287-24-3200(入試事務室)

社会人からの挑戦

「私が看護助手をへて診療放射線技師を目指す理由」

放射線・情報科学科 岩上 智絵

私は千葉にある病院で、看護助手として働いていました。

私の所属は消化器外科病棟で、多くの患者さんの身の周りのお世話はもちろんのこと、採血や培養などを検査室へ降ろしたり手術前後の患者さんを検査室へ連れて行ったり、またX線などを使用しての大きな検査の準備や後片付けなどめまぐるしく働いていました。そして私は、仕事から色々な医療従事者と接する機会がありその中に今私が目指している診療放射線技師との出会いがありました。患者さんの検査の中で今の医学の中で放射線はかかすことのできないものになっています。特に消化管疾患の患者さんに対するX線検査はとても苦しく、辛い



ものです。そのような姿を毎日のように見ていた私はもっと簡単に痛みをあまり感じなく検査できるようにならないのだろうかと考えようになりました。

また、今日増え続けているガンというものに対して手術以外に治す治療法として放射線治療があります。私が勤めていた病院には治療の機械がなく放射線治療を必要とする患者さんは転院しなくてはならなかったため、最後まで患者さんのお世話をすることができないことにもどかしさを感じると共に、今の医療ではどれだけガンを消すことができるのかとても興味があり一人でも多くの患者さんを助けてあげたいと思いました。毎日の勉強は、理数系科目がほとんどでとても大変ですが、将来、診療放射線技師になり病院で一日も早く働ける日を目指して頑張っています。

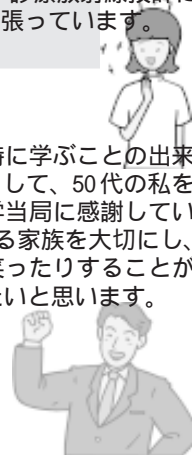
「ホップステップを経て今こそジャンプの人生だ」

理学療法学科 大川 梨

私は30年間製薬会社に勤務し、病院の先生方に自社製品の説明をする仕事についていました。やりがいもあり居心地のよい職場でしたが、何か物足りなさもありました。薬剤を介しての患者さんへの貢献にもどかしさを感じ、直接患者さんに接したいと思うようになったのです。そんな時、病院で体の麻痺やその他の後遺症で苦しんでいる多くの患者さんを知りました。それらの患者さんの社会復帰に最前線でお手伝いするのが理学療法士であり、患者さんと全人格的に接する姿勢が求められていると教えられ、これこそこのもどかしさを解消し、今までの経験も生かすことが出来る仕事だと思ったのです。そこで53歳で退職し、翌年の8月の社会人入試で本学に合格することが出来ました。年齢に関係な



く学びたい人が学びたい時に学ぶことの出来る、社会に開かれた大学として、50代の私を受け入れていただいた大学当局に感謝しています。そして協力してくれる家族を大切にし、患者さんと共に泣いたり笑ったりすることができる理学療法士になりたいと思います。



「Hello, everyone」

医療経営管理学科 Archana Pradhan

Hello everyone. I am Archana Pradhan, the first year student from the department of Hospital Management. Before talking about myself, I would like to say something about my country. I am from the country Nepal, the birth place of Shakyamuni Buddha and the place where the world's tallest Mount Everest is situated.



About myself, I would say that I am learning each day and feel happy receiving smiles from my colleagues. Though it's not easy for me to study everything in Japanese, as

I have studied Japanese language for just one year. I hope that I will get help from my teachers and friends regarding the studies.

As people who need health care are increasing day by day, I feel that an active force of management is the most needed force for the change needed in Hospitals and Health care services. I do hope and strongly feel that my four years of studies at IUHW will make me able to learn and eventually have the good management capabilities.

Lastly, I would like to thank IUHW for making my dream turn into reality.

Minna San yoroshiku onegaishimasu!!



「お金では買えない大切なもの」

看護学科 丸山 輝幸

私は社会人入試で入学致しました。高校卒業後プロのキックボクシングの世界を経験し病院勤務を経て、この場に至ります。キックを始めたきっかけは格闘技が好きで、お金を稼ぎステイタスな生活、小学生の頃から好きだったボルシェ・フェラーリに乗る事でした。今思えば単純な動機だったと思います。...こんな私ですが、足掛け七年でバンタム級東洋・太平洋チャンピオン(世界ランク七位)年収一千万円程の仕事量と価値を、手に入れた時もありました。そんな自分が何故看護に居るの?それは、お金では買えない大切な何かを見つけたからです。

プロのキックを始めた頃は、ファイトマネー三千円程で生活はほとんど出来ません。なので他に色々なバイトをしながらまずはファイトマネー二十万の日本チャンプを目指します。ですが、九割近くがこの段階で辞めて行きます。自分もその一人に成りそうな時に、元日本チャンプの先輩から「メキシコ・タイに行って練習して来い」と言われました。その時は海外に行った事もなかったので、旅行気分でした。今思えばこれが自分の人生を大きく変えたような気が致します。タイのムエタイという国技があるのですが、とにかくハングリーです。メキシコにしても狼が獲物を捕えるかのようです。グローブが買えず血豆の手で練習している者も居ます。自分に向かって「絶対チャンプになる。」と言って来るのです。日本はどうでしょう?グローブ・シューズ、講習料などほとんど親から出してもらい終には、お金の成らないから、辛いから辞めるのがほとんどです。経済力・文化の違いは在るかもしれませんが、日本は



特別な国なのかもしれません。甘いところですが、一番印象深い事は、「なぜ世界チャンプに成りたいの?」と聞くと「今まで苦勞を掛けた両親に家と普通の食事を食べさせたい」の一言でした。私も平々凡々と都内でプロ生活を送っている時、高校の時から反対していた両親でしたが、KOされ脳震盪で失神救急車で病院に運ばれ、埼玉の田舎から真っ先に駆けつけたのは、あのうさぎ父親でした。その頃から、自分自身変って来たような気が致します。お金がなくては生活できませんが、お金では買えない大切なものに気が付きました。

自分の夢や目標がありますが、自分の力だけでやるのだからよいと言う世界でも無さそうです。自分の視野から見えない所で、苦勞を掛けているのかもしれない。夢や目標を持ってこの大学へ入学されたかと思いますが、自分の視界に捕われない事だと思います。そして、海外には一度行った方がよいと思います。...日本が特別なのだなと思います。

世界チャンプには成れませんでした。今の自分の原点がここにあり日本人にないハングリースピリット・お金で買えない大切なもの(健康・愛情・理想の自分...)を大切に看護の世界に活かしたいと思うし、自分の理想の自分を目指して自分だけのチャンプを目指したいと思います。そして、十代は二度と戻ってきません。やりたい事が沢山あると思いますが、自分を大切に、自分を支えてくれる人達も忘れずに大学生生活をエンジョイして下さい。

海外における地域医療 福祉研修に参加して

三月中旬、「学生の為の地域医療・福祉研修」をテーマとした、デンマークでの視察・学生交流に参加することになりました。国際医療福祉大学からは私以外に、作業療法学科三年の竹下泰弘さん、吉澤直子さんが参加しました。今回の研修では、高齢者統合福祉センター視察、県立テクノエイドセンター視察、デンマークの理学療法学科の学生（PT養成学校）、看護学科の学生とのディベイト、晩餐会、そして、あの福祉専門家（著書・福祉の国からのメッセージ）であるブンゴード孝子さん自らが講師として、デンマークの高齢者・障害者福祉政策の概要を演説して下さる機会を頂くなど、内容が濃く、充実した研修となりました。

デンマークでは福祉・行政・統合介護システム、医療制度と多岐にわたる充実した医療・福祉制度を垣間見ることができました。デンマーク国民の生活は、「高福祉・高負担」で支えられています。かつ、行政では、国、十四の県、二七五の市という三つのレベルに分類され、各々の医療・教育・福祉に対する行政担当が明確に区分された特徴。そして、医療制度の中には、全国民が家庭医（GP）を持つことができる「家庭医制度」をとっているなど、国民の医療・福祉に対する意識が高いことを教えられました。

一方、PTの学生（彼らは入学するために、高等教育国家試験に合格する他、社会経験を九ヶ月以上つまなくてはならない）とのディスカッションで、ある学生が発言した内容に深く考えさせられるものがありました。「私たちは人と接する仕事につくんだ。その医療従事者が何の社会経験をもちないで仕事を果たせる（患者を相手に）わけがない。必ずあとで自分を苦しい状況に追い詰められることになるだろう。」この発言に対して、見解の受け取り方は十人十色かもしれませんが、私にとっては何か重要なことに気付かされた気がします。

（理学三年 山内義崇）



銅メダルGET!

少林寺拳法部

私達は昨年の十一月に行われた二〇〇一年少林寺拳法全国大会に、国際医療福祉大学支部として出場しました。そこで優良賞（三位）という成績をおさめ、その結果二〇〇一年少林寺拳法世界大会（開催地・フランス）出場権を獲得することができました。そして先月、四月二十九日フランス・パリで開催された世界大会に参加してきました。二十八ヶ国の国が集まり、参加拳士は一五〇〇人という規模で行われたこの大会で私達は一般女子級拳士の部に出場し、ここでは十一組のペアが、演武を披露しその技の正確度、表現度を競い合いました。私達はそこで Excellence Award賞（三位）という結果を残すことが出来ました。それぞれの国の拳士が、母国で練習を重ねてきたすべてを出しあう中、このような賞を取れたことはとてもうれしく自信につながりました。また大会はもとより、国際講習会も受け世界各国の人々と少林寺拳法というものを通じて触れ合えたことがうれしかったです。このような機会が得られたのも、指導していただいた那須大田原支部道場の道院長、そこに通う地域の方々、顧問の先生そしてともに練習する部員たちの力があってこそだと思ひ、感謝の気持ちで一杯です。そしてこれからもIUHW少林寺拳法部をみんなで盛り上げていきたいと思っています。

”悩める”学生さんへ

臨床医学研究センター（精神医学）
楠元 克徳

新入生の方も上級生の方も、新年度の生活にそろそろ慣れたころだと思えますがいかがお過ごしでしょうか。順風満帆という方、おおいに結構、そのまま充実した学生生活を送っていたらいいと思います。でも生活には大なり小なり何かの悩みを抱えている方もいらっしゃるでしょう。たとえば専攻分野と自身の適性、授業内容の理解度、進路や就職、友人関係、異性関係や恋愛問題、経済事情、自身の身体的・精神的健康に対する不安など、ざっと挙げただけでも多くの問題が頭に浮かびます。そのようなときにみなさんはどのように対処しているのでしょうか。自分なりに考えたり、友人や家族と話し合うことにより悩みを解決できればいいのですが、誰にも打ち明けられずひたひた抱え込んでしまつて悶々としていることはありませんか。そのような方たちに、大学では様々なサポートをする体制があるのです。まず、自分も身近なのはみなさんの所属する学科、専攻の教員の先生方です。先生方はそれぞれ自分の専門をお持ちのスペシャリストであると同時に、豊かな経験を積まれてきた人生の先輩です。学生のみなさんとは異なる視点からものごとを観る目をお持ちですから、悩み事に対しても様々な角度からのアドバイスをしていただけることでしょう。

どうぞ気軽に先生方の研究室を訪れてみてください。但しあらかじめ都合を聞いておくなど、プライベートなことや学部の先生には相談しにくいという悩みをお持ちの場合には、大学院棟にある学生相談室を利用してください。専任のカウンセラーが対応いたします。カウンセリングといっても難しく、特別なことをするわけではなく、カウンセラーが自身の専門性に基づきながら、学生さんといっしょに問題を考え、いくつ時間を共有するものだと思つてください。学生相談室の利用方法については、パンフレットを作成してありますのでこちらをご覧ください。L棟一階の学生課にお尋ね下さい。身体的不調や心の病でお悩みの方には、大学クリニックがあります。クリニックは大学正門から入ってすぐ右手の建物です。内科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科、精神科などが開設されており、学生、教職員の健康管理と地域住民に対する一般診療をおこなつております。科によって診療曜日が決まっております。また予約制の場合もあり、その詳細は電話（二八七 二四〇）または直接クリニック一階の受付にお問い合わせ下さい。

Dr. John Kobayashi 来たる!!



厚生労働省、国立感染症研究所（NIID）の招きで来日したDr. John Kobayashiは日系三世でテキサス州ヒューストン近郊の生まれ、スタンフォード大学医学部を卒業の後、ハーバード大学保健学部にて、医学・保健学両方の学位を得ました。CDCに

おいて感染症の研究に従事した後、西海岸ワシントン州シアトル市の公衆衛生部において、O-157の突発性アウトブレイクに関する調査研究を行い、この方面で顕著な業績を挙げました。在日中に本学における講義と大田原市の講演会を企画してお願いしたところ快諾をいただき、この二つの企画が実現することになりました。看護学科、基礎医学研究センター、臨床医学研究センターの合同主催で講義は看護学科一、三年生に対して、講演会は市総合文化会館を会場として行われました。演題は、「O-157、腸管出血性大腸菌感染アウトブレイク・米国シアトル市・ワシントン州における私の経験から」で、度々O-157大腸菌感染が発生し、その原因が本県に關係するものというニュースが飛び込んできた時期でもあり関心を呼びました。通訳をお願いした語学教育センター溝口昭子先生に感謝申し上げます。（臨床医学研究センター 都築正和）

リレーエッセイ

放射線・情報科学科 橋本光康



これから秋に向けてはご存知のとおり雷が多発する時季です。「雷」と聞くと脳裏を過るのは、学生時代の地学実験の思い出です。この実験は、山に登って断層から鉱物を採取・分析し、気球を上げて気象データを取り、深夜には天体観測を行うという作業を連続で実施しなければならぬものでした。食事や睡眠時間も満足に取れず、風呂にも入れずといった劣悪な環境下で目的の為に耐え抜く、今考えれば恐ろしい集中実験を経験しました。約60時間に及び拘束から開放されたとき、凄まじい雷雨に祝福されたことが今でも鮮やかに甦ります。現在の担当教科(放射線治療学)と全く関係無い分だけじつに感慨深いものがあります。一個人としては、雷が街を覆う度に学生さんに似たような経験を積ませたいと思いますが、さすがに行き過ぎです。いつかは実行してみようと思っただけですが...

勤勉で多忙な学生諸君、天気が変わったら空を見上げてください。空一面が大きなキャンパスとなって迫力ある動画を展開しています。自然の力の存在を肌で感じとってみてください。もしかしたら、名物の「雷」が何かを教えてくれるかもしれません。

それと最後に一つ。学生諸君には身近なところで直撃を受けないよう、日頃から万全の対策を講じておかれることを希望します。

学生課より

過日本学の学生が、大変いたましい事件に遭遇しました。本学では既下記のような掲示を行ない皆さんに注意を喚起したところですが、皆さんの安全は第一にご自身の不断の注意によります。下の注意も参考にして、安全を確保していただきたいと思っております。

また皆さんが今後さまざまなトラブルに遭遇した場合の相談窓口を、下記のように開設いたしましたので、今後は是非ご相談ください。

- 1 住まいの窓・玄関などの施錠を厳重にしてください。これから夏にむけて特に注意を要します。
- 2 夜間の単独での外出は極力控えるようにしてください。夜間、人気がない所を通行する場合は防犯ブザーを着用するなどの対応をし、周囲によく注意してください。
- 3 風俗営業、その他夜間の職種や危険な職種でのアルバイトは極力避けるようにしてください。
- 4 学生らしい節度ある服装・ふるまいを心がけてください。
- 5 自分や友人の住所や電話番号を軽率に教えたりしないよう気をつけてください。
- 6 大きな音をたてたり夜間に騒いだりすることはトラブルの原因となることがあります。周囲に迷惑をかけないように注意してください。
- 7 些細な出来事・トラブルでも、出来るだけ早く学生課や先生に報告・相談してください。
- 8 そのほか、「学生生活の手引き」等を参考にしてください。

相談窓口

今後何かトラブルが発生した場合には、すぐ下記窓口の担当者に報告し相談するようにしてください。勿論、各学科の学生委員の先生でも結構です。できる限り迅速且つ効果的な対応をして参ります。

学生課 0287-24-3003

Email: seikatsu@iuhw.ac.jp

男性担当者 高石課長

女性担当者 木下相談員(学生相談室)

* 学生相談室では電話・Emailでの相談の受付はしてありません。

アンケート結果について

過日、日常生活上遭遇したトラブルについてアンケート調査を実施しましたが、その結果に基づいて現在対応を検討中です。結果については後日ご報告する予定でありますので、是非生活上の参考にさせていただきたいと思っております。

イブニングタイム公開講座、開講

国際医療福祉大学では、毎年恒例となりました地域の方々を対象とする「イブニングタイム公開講座」を開講いたします。今年度は次の内容で実施いたします。どなたでも聴講できます。奮ってご参加ください。

テーマ: がん医療の最前線

期日: 平成13年5月24日~7月12日、
毎週木曜日、午後6時~7時

会場: 国際医療福祉大学 大講義室(F101)

受講料: 1回500円、全8回3,000円(事前登録)

第1回<5月24日(木)>がん克服への展望

寺田 雅昭(国立がんセンター総長)

第2回<5月31日(木)>がん患者の看護

渡辺 孝子(国際医療福祉大学教授)

第3回<6月7日(木)>がんの診断

宇野 公一(西台クリニック画像診断センター院長)

第4回<6月14日(木)>がんの治療

巨理 勉(獨協医科大学名誉教授、元国際医療福祉大学教授)

第5回<6月21日(木)>がん患者のターミナルケア

志真 泰夫(国立がんセンター東病院、
ホスピス緩和ケア病棟医長)

第6回<6月28日(木)>がん検診

小山 靖夫(栃木県立がんセンター所長)

第7回<7月5日(木)>がん患者とインフォームドコンセント

武田 文和(埼玉医科大学客員教授、
前埼玉県立がんセンター総長)

第8回<7月12日(木)>日常生活とがん予防

長尾 美奈子(東京農業大学客員教授、
前国立がんセンター研究所発がん研究部長)

申込み方法: 各回ごとに、当日受付をいたします。詳しくは、
大学ホームページをご覧ください。

問合せ・申込み先: 〒324-8501 大田原市北金丸2600-1

国際医療福祉大学 事務局 総務課

電話: 0287-24-3000 FAX: 0287-24-3100

ホームページ: <http://www.iuhw.ac.jp>

「エミは私が教室に入ると、いつも満面の笑顔で迎えてくれました。朗らかで積極的な学生でした。今度の事件は本当に痛ましく残念なことです。エミのビューティフルスマイルが忘れられません。」(ケリー・ギグリック先生談)

4月14日に亡くなられた看護学科4年、前田 笑さんが1年生の時に英語会話の担当だったギグリック先生の言葉通り、1998年のクリスマスパーティで先生と一緒にカメラに収まって、楽しそうに笑っています。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。



同窓会「マロニエ会」

現在、マロニエ会では平成十三年度同窓会総会に向けた準備が着々と進められ、同時に、各学科会・支部会の開催準備も進行しております。

平成十三年七月二十八日(日)には北関東支部会が開行され、第一回地域懇親パーティが後日ご連絡いたします。詳細については華々しい第一歩を踏み出すよう、北関東在住の皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

また以前、第三期卒業生にお配りした同窓会名簿登録用返信葉書については至急同窓会事務局までご返送ください。同窓会に入会する方、卒業生名簿作成に必要なものとなります。同窓会からの案内等の送付先住所となく、是非皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

(第二期生放射線・情報科学科卒業) 理事 菅沼政紀

「私が感銘を受けた本」 (第11回)

書名：医学するところ
オスラー博士の生涯
著者：日野原重明
出版社：岩波書店
紹介者：



基礎医学研究センター 嶋田裕之
ウィリアム・オスラー博士(1849-1919)はアメリカ医学の開拓者といわれる医師であり、教育者である。

彼は愛して止まなかった学生に話している。自己を抑制する習慣、日々を効率の良いシステムにする習慣、物事に徹する特性、そして最後に「謙遜の徳」なしには良い医療はできないと強調している。でも、心が疲れないように、いつも“南を向いているように”陽気な気持ちを持つようにとも。博士のヒューマンな生き方、患者へのいとおしみの心を日野原先生は切々と訴えられている。私は目のうろこが取れた気がした。

図書館の大学長著書の右側の書棚に置きます。ご愛読下さい。(図書館長)

私の研究ノート 作業療法学科 谷口 敬道



手指の力を測って、障害者や高齢者が使いやすい日用品の設計に役立てるデータを収集することや日常生活を営む上で実際に必要な手指の力を測定することが現在の研究テーマです。体育や部活などで握力を測定したことがあると思います。その時の制御の多くは割れないように力を徐々に加えていく方法であり、割るための制御ではありません。ひとつの場合、ある物体を操作するときにはその硬さや重さを予測して動作を開始します。その制御方法は異なります。ひとつは、ひとつのデータを蓄積してロボットの制御にも役立てていきたいと考えています。

測定の一例として行った煎餅袋の開封では、その動作にいくつものパターンがあることが分かりました。開封する前に必要となる物理的な力は決まっていますが、その点に到達するまでに、はじめから一気に力を入れたり、徐々に力を入れるなどの特徴がみられました。高級な煎餅は、湿気を嫌うために袋の接着力が強くなる傾向があります。開封が難しくなることもあります。手で開封すればよいのですが、煎餅袋のあのピリッと破れる音は魅力的です。その為には、どんなパッケージがよいかを検討する指標に役立てば良いと考えます。

最近では、ロボットでも卵を割って目玉焼きがつかれます。この時の制御の多くは割れないように力を徐々に加えていく方法であり、割るための制御ではありません。ひとつの場合、ある物体を操作するときにはその硬さや重さを予測して動作を開始します。その制御方法は異なります。ひとつは、ひとつのデータを蓄積してロボットの制御にも役立てていきたいと考えています。

看護学科から公開学習会のお知らせ

平成十三年度看護学科公開学習会を次の要領で開催いたします。
今回のテーマは、「ヒューマンエラーと医療事故」とし、オムニバス形式で行いたいと思います。
日程：7月9日、7月16日、7月25日の全3回
時間：18:00～19:30
会場：F 101号室
申し込み方法：全3回あるいはいずれか1回のみでも参加ご希望の方は、申し込み用紙に必要事項をご記入の上、郵送あるいはFAX(0287-24-3191 看護学科 近藤哲子宛)にて、6月25日までにお送り下さい。
宛先：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
国際医療福祉大学 保健学部看護学科 公開学習会担当 近藤哲子宛
参加費：1回1000円 各開催日当日、受付にてお願い致します。

教員紹介



所属・職位 生年月日
出身校 専門分野
直前の勤め先
主要著書または論文
本校における担当科目
趣味

初山 泰弘(ハツヤマ ヤスヒロ)



国際医療福祉大学・大学院長
(国際医療福祉
リハビリセンター長兼務)
1931年(昭和6年)10月30日
九州大学医学部医学科
身体障害者のリハビリテー
ション、整形外科
国立身体障害者
リハビリテーションセンター
装具治療マニュアル(編著)
リハビリテーション概論(大学院)
音楽、読書

渡辺 孝子(ワタナベ タカコ)



看護学科・教授
2月2日生
東洋大学
社会学研究科修士課程
がん看護学
埼玉県立南高等看護学院
がん治療の副作用対策と
看護ケア
看護方法論、看護管理学特殊講義、その他
音楽を聴くこと 演劇やパレーを観ること

谷 夫(タニ ノリオ)



臨床医学研究センター・教授
昭和14年11月3日
東京大学医学部医学科
消化器内科学
東海大学医学部
Immunohistochemical
localization of calcitonin
gene-related peptide in the
human gastric mucosa. Digestion 60
(4):338～343, 1999
内科学、医学概論
クラシック音楽、推理小説、旅行、ゴルフ

新美 成二(ニイミ セイジ)



言語聴覚障害学科・教授
言語聴覚センター・センター長
1940年7月13日
東京大学医学部
音声言語学
東京大学大学院医学系研究科
S. Niimi and M. Miyaji
Vocal Fold Vibration and
Voice Quality
Folia Phoniatrica et Logopaedica, 52:
32-38, 2000
音声・言語・聴覚医学、耳鼻咽喉科学
音楽、旅行

大久保 真人(オオクボ マサト)



理学療法学科・教授
1948・6・22
東京農工大学大学院、
農学研究科、獣医学専攻
肉眼解剖学一般
東京医科大学解剖学第一講座
日本人のからだ - 解剖学的変
異の考察 - (分担、東大出版会)
解剖学(理学療法学科)
家庭菜園(ここ数年、白菜の漬物は自家製)

大西 正利(オオニシ マサトシ)



医療経営管理学科・助教授
1948年4月9日
東京都立鷺宮高等学校
診療報酬請求実務、医事管理
医療法人財団 河北総合病院
事務部特定専門職
実例問題集
レセプト請求の全技術(単著)
診療報酬請求事務能力認定試験
受験対策と予想問題集(共著)
診療報酬請求理論、医事管理論
囲碁、絵画・映画鑑賞、読書(推理小説)、
ドライブ、卓球

高橋 紘一(タカハシ ヒロカズ)



医療福祉科・臨床教授
昭和18年5月27日
早稲田大学第一文学部
高齢者領域
特別養護老人ホーム
生きいきの里
老人ホーム論(筒井書房)
社会福祉援助技術演習、
ゼミ、医療福祉実習、その他
柳田國男の世界に今一度挑戦したい

田平 隆行(タヒラ タカユキ)



作業療法学科・助手
1971年5月15日
長崎純心大学大学院
人間文化研究科
身体障害領域
医療法人春回会 長崎北病院
遠隔筋収縮による大脳皮質錐体
路ニューロン興奮性の促進効果、
作業療法(印刷中)

臨床実習

ソフトボール、ゴルフ

宮地 幸久(ミヤチ ユキヒサ)



放射線情報科学科・助手
1964年7月11日
甲南大学理学部
放射線生物学
東邦大学医学部生理学教室
Miyachi Y.: Acute mild hy
pothermia following a low-
dose of X-irradiation induces
a protective effect against mid-
lethal doses of X-rays, and a low-level
concentration of ozone may act as a
radiomimetic. The British Journal of Ra-
diology, 73: 298-304, 2000
放射線治療学実験、放射線生物学、その他
乗馬 長い距離を歩くこと

学科・センター便り

看護学科

新入生歓迎会開催!
今年度、看護学科には女性百十三名、男性十四名の一年生が入学しました。そのうちの一はベトナムからの留学生です。はつらつと元気一杯の新入生を迎えて先輩達が五月九日、新入生歓迎会を開催しました。二年生が中心となって、会の企画・運営を行いました。手作りのおにぎりや焼きそばなども出されました。チアリーディング部やダンス部の躍動美あふれる技の披露や三年生有志による楽しい出し物、女性の看護服を着て、「女らしさ?」をアピールしている男子学生もいて、学生、教員共々楽しい一時を過ごしました。

一年生諸君! これからの四年間、四季折々の自然美あふれる大田原で、寒さに負けず多くのことを学びつつ、ステキな看護職をめざしてがんばりましょう!!
(豊嶋三枝子)

言語聴覚障害学科

新年度が始まり、三月月目に入りました。期待と不安一杯だった一年生の皆さんもそろそろ慣れてきたことと思います。勉強やサークル活動などを通じて四年間充実した大学生活を送って欲しいと思います。

二年生、三年生は学習内容がより専門的となり、課題やレポートに大変な日々が続いていることと思いますが、自分の将来に向けて一歩一歩着実に歩んで欲しいと思います。

また、四年生にとっては大学生活の集大成とも言える臨床実習が始まり、言語聴覚センターや学外の実習協力施設にて行っています。四年生にとって期待と不安、そして緊張の連続かと思いますが、健康に充分留意してみなさんにとって実りある実習となるよう頑張ってくださいと思います。

これから一年間、こころに「ゆとり」をもって共に頑張りましょう。
(鳥野幹大)

作業療法学科

一年生へ「作業」という単語に慣れましたか。一年生の皆さん、大学生活に、そして「作業」という単語に、慣れましたか。本学科名称の冠「作業」は、他学科の冠に比べ、わかりづらい事でしょう。今度の夏休みに高校時代の友人に、「実習が大変そうなの」と言えは、(え、作業の実習?、草むしり?、土木?) などと思われてしまっつかもせれません。しかし、これから講義等を通して「作業」を考える日々を過ごすうち、「作業」という単語に慣れ、自分の周りに溢れる「作業」が気になり始める事でしょう。そして、それが作業療法士への歩みの第一歩かと思えます。じっくり、ゆっくりに「作業」を考えてみてください。
(下田信明)

理学療法学科

「郷に入っては郷に従え」ということわざがあります。必ずしも良いことではありませんが、四年次総合臨床実習の訪問に行く、折角大学の授業などでは問題なく優秀な成績を残しているが、そこでは残念な結果に終わっている人が少なくなくとも残念です。社会的適応力を身につけるということですが、これは大学の授業を聴いているだけでは身につかないものです。患者さんや指導者との人間関係等実習でぶつかる様々な苦難も長い人生の中の一つの試験として、それを楽しむくらいの心の余裕を持つて臨みたいものです。以上は真面目な人の話です。自身の胸によく手を当てて不真面目だと思っている人は勿論論を入れ替えて臨むのは言うまでもありませんよ!
(藤井菜穂子)

放射線・情報科学科

「がん医療の最前線」を開催

今年度は放射線・情報科学科が担当し、五月二十四日から七月十二日まで毎週木曜日、全八回にわたり開催します。掲題のテーマで著名な先生方にわかりやすい講義をお願いしてあります。最先端のお話を聞ける貴重な機会ですので、在学生はもちろんどなたでもふるってご参加下さい。当日受付も可能です。
詳しい内容、お申し込みは大学のホームページ
(http://www.iuhw.ac.jp)をご覧ください。
(飯沼一浩)

医療経営管理学科

外へも発信・・・発信!!

新学期が始まって早二ヶ月も過ぎ、学生の皆さんは五月病にもならず無事に乗り切って頑張っているように思います。私もこの四月に赴任して参りましたが、荷物の整理もつかぬ状態でこのまま夏休みへと突入しそつであります。

さて先日五月二十六日(土)に本学内で日本病院管理学会の例会が「医療経営管理の専門教育はどうあるべきか」と題して開催されました。病院管理者の養成を目的として日本ではじめて設立された本学の医療経営管理学科はありますが、同様な大学の学科も最近増えてきたので、この例会は各大学の間で経験を交換し合い、今後の学生の指導・教育へ活かすための初の試みとして開かれ、当日は運々大田原の地まで全国から多数のご参加をいただき大盛況のうちに終えることができました。ご協力をいただきました方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも学内外での交流を深め、情報発信していくことも大事だと思っております。
(小出大介)

医療福祉学科

第一期生の国家試験と就職状況 報告

医療福祉学科初めての卒業生・第一期生たちは、国家試験(社会福祉士、精神保健福祉士)でも就職活動でもがんばってくれました。簡単に報告いたします。
国家試験の結果、社会福祉士は、百二十名の受験者のうち七十名が合格、合格率は五八、三%でした(ちなみに全国平均合格率二六、五%)。プラスして精神保健福祉士も受験した人三十四名のうち、三十三名が合格、合格率は九七、一%でした(全国平均合格率三六、一%)。
就職・進学状況は次の通りです(四月末現在)。
(本多勇)

MSW(病院)	15人(13.5%)	
PSW(病院)	18人(16.2%)	
PSW(施設)	4人(3.6%)	
高齢者保健福祉施設等	24人(21.6%)	
障害福祉施設等	19人(17.1%)	
児童福祉施設	5人(4.5%)	
社会福祉協議会	5人(4.5%)	
行政関係	4人(3.6%)	
病院事務	4人(3.6%)	
団体	1人(0.9%)	
一般企業	2人(1.8%)	
現在活動中	10人(9.0%)	
以上合計	111人(100%)	=卒業生121人の91.7%
進学・大学院	3人	
進学・専門学校	1人	
進学準備中	1人	
就職しない	5人	
以上合計	10人	=卒業生121人の8.2%

情報教育センター

情報処理演習室では、一、二八台のパソコンを設置し、情報リテラシー教育や他の情報関連教育に利用しています。最近では、学科から専門教育でマルチメディア的教育を行いたいという要望や、学生からS/L教室だけでなくもっとインターネット、メールを使いたいなど要望が当センターによせられています。しかしながら、情報演習室のパソコンはOSがWindowsであることやCPU能力が劣ることで、ディスク容量が少ないことなどから、要望を受け入れることが不可能でした。今年度の文部科学省の情報機器の助成にパソコンの代替を申請しました。決定の結論は先ですが、採用されれば現状の問題の殆どは解決されると考えられます。
(榊澤一之)

大学院だより

今年度あらたに「保健医療学専攻・博士後期課程」と「医療福祉経営専攻・修士課程」が開設されました。いままでの修士課程は、今年度入学生から「博士前期課程」に名称が変わります。博士前期課程は

修士課程)の目的は高度専門職の育成と研究者の育成、博士後期課程の目的は高度研究者の育成にあると言われますが、それぞれ目的がよく達成されるように、心を引き締めたいと思います。
今年の入学者は、保健医療学専攻・博士前期課程が四十五名(定員五十四名)、同後期課程が二十名(定員十四名)、医療福祉経営専攻・修士課程が十二名(定員三十名)でした。新一年生三十九名を加えると在籍者総数は百十六名です。昨年度新築された棟には、広く快適な院生自習室が完備しています。
四月十二日から、一斉に授業が始まりました。本学特設の遠隔授業キャンパスが東京、柳川、福岡の三ヶ所に開かれているので、教師も授業もマイクを握り、四分割画面を見つめ合つての授業です。
五月三十日(水)には、修士課程二年生の研究報告会が一日かけて開催される予定です。(鎌倉矩子)

健康管理センター

十二年度学生定期健康診断始まる

四月のクリニック外来は、医科二四八名、歯科八四六名で、春休みの影響が、うち学生は医科二九八名(二二%)、歯科一五三名(三〇%)、教職員は医科一三二名(〇・五%)、歯科七八名(〇・九%)と少し少な目でした。学生の外来では相変わらず感冒が多く見られます。四月十四日から毎週土曜日に学生の定期健康診断が始まり、五月十九日現在四年生と三年生の全日程が終了しましたが、高コレステロール血症で再検となる人が目立ちます。インスulin、食品、揚げ物、卵黄、肉の脂身などの摂り過ぎに気を付け、野菜をたくさん摂るようにしましょう。
(谷 夫)

基礎医学研究センター

基礎医学研究センターは、この四月から大久保眞人先生(解剖学を担当)を迎えて、五人で再スタートしました。基礎医学の科目は一、二年生で再スタートが主ですが、何と云ってももて基礎を学ぶ学問ですので、医療に携わる限り、多かれ少なかれ関わり合いを持つものと思います。身体の仕組みの不思議さに興味を持ち、生命に畏敬の念を抱きながら、医療に携わる人間に育ってほしいと願っています。本学でもし棟に基礎医学研究施設が作られ、徐々に整備も進んでいます。大学院課程で基礎医学研究することも可能です。基礎医学に興味を持つ方、一緒に生命の不思議を探求しましょう。
(黒澤美枝子)

語学教育センター

「タイ人は英単語を千語くらいしか知らなくても一単語も知っているようにしゃべるのに、日本人は一単語知っていても三語しか知らないみたいだししゃべり方をする。」あるタイのジャーナリストの発言です。本学の学生さん達ははどうでしょうか？言いたいことを英語で言えるようになるには、多少の間違いは覚悟の上、恥ずかしがらずに慣れるより方法がないのです。言語学習においては、学習者が積極的に使いたくさせる語彙を運用語彙 (active vocabulary) と呼んでいきます。当然、運用語彙は認知語彙に含まれています。運用語彙の範囲を広げるには、記憶術ではなくて前述のように使ってみる経験の積み重ねにより、勇気を出して英語で発声してみよう。

大学生に必要な認知語彙数はどのくらいか一概には決められません。大学英語教育学会では一般学生を対象に四言語を提唱しています。本学のように特定分野の語彙が加わってこれより多くなる筈です。折りに触れて、英単語を覚えましょう。(宮尾洋子)

言語聴覚センター

言語聴覚センターのこれから

四月より、新センター長として私、新美成二が着任いたしました。前任地が東京大学という歴史ある(因習というべきか)施設でしたので、この地での見るもの、聞くもの、すべてが新鮮に感じています。さて、言語聴覚センターは世界でも第一級の施設です。この入れ物に見合った内容を作り上げることが、これからの仕事です。人間にとって言語聴覚はコミュニケーションには欠かすことのできない機能であります。言い換えれば、人間らしい生き方をするには言語聴覚機能が必須でありまして、この、大切な機能の障害を私たちは対象としているので、ということを書肝に銘じてこのセンターを運営していく所存です。言語聴覚士の仕事として嚥下障害のリハビリがあります。ものを口から食べることはQOLに大きな影響をもちます。言語障害に加えて少し力を入れてゆくつもりです。

本センターは東北で唯一の言語聴覚障害の診療機関であり、社会的な責任もありません。また、教育機関でもあり研究機関でもあります。この三つの柱を支えるのはセンター専属の五名の言語聴覚士と言語聴覚障害学の教官をはじめとした多職種にわたるスタッフの方々です。皆様のご協力をお願いいたします。(新美成二)

部会・委員会報告

紀要委員会

平成十三年度の第一回紀要委員会を四月十七日(火)に開催いたしました。今回も最近の論文原稿の問題を記述します。それは参考文献の書き方についてです。文献の書き方は同じようであるが、学術誌ごとに異なります。そこには編集者の思想があります。著者はその書き方に従う必要があります。ところが最近では外国誌でも文献の書き方が大きく変わってきていて、著者名の省略形の変形や姓名の倒置などがあり、原典を見ていないと誤記も起こりえます。最近、最悪の例として文献の書式を不統一のまま投稿するというはなはだ無神経な原稿に遭遇しました。ご注意ください。(野原功全)

ポランティア委員会

四月十七日にIUHWポランティアセンター(那須療護園、なす療育園)の定例会を開催しました。新年度ということもあり新入生の参加があり教室いっばいの学生になりました。関係職員の紹介のあと、食事、居室、洗濯物、ふれあいの各グループ代表の学生から、この一年間の活動紹介があり、新入生への参加の呼びかけがありました。

四月二十五日(二十七日の三日間、さっそくリセンターで新規参加者約三十名の研修会が開催されました。

五月八日、昼に大学のボランティア委員会を開催しました。この日は、学内の各ボランティアサークルの代表も参加して、先般佐野情報短大で開催された栃木県内学生ボランティア交流会準備会の様子も報告されました。

国際部・国際交流委員会

平成十三年度委員：中村勝・藤原聡子(看護)、斎藤昭彦(理学)、山崎せつ子(作業)、田中裕美子(言語)、金場敏憲(放・情)、高橋淑郎・陳露芬(経営)、東口重信(福祉)、黒澤美枝子(医学)、田中美子・南井紀子(語学)、細井良三(情報)、山崎統四郎(国際部長・放・情)、大野節夫(学生課)、五十嵐美知(国際部) 【委員長 副委員長】

新留学生六名が入学：看護・NGUYEN HEN TH(ベトナム)、理学・成命奇(韓国)、京平(中国)、陳曉青(台湾)、経営・ARCHANA PRADHAN(ネパール)、福祉・温祥青(台湾)

(財)笹川記念保健財団主催、八月開催の二〇〇一年度国際保健協力フィールドワークフェロシッブ参加学生が決定

海外・国内研修：飯田哲平(HM3)、国内研修：渡辺美佐緒(NS2)、桑原正彦(PT2)、藤沢正樹(OT3)、池田泰隆(RT4)、安達暁子(HM4)、栃村浩史(HS2)

総合科目「海外福祉事情」：夏期研修活動を本年も七月三十日(八月十三日)に行う予定、要綱を発表し、事前授業を始めました。

恒例の「留学生・帰国生徒・海外生活経験者の集い」を五月二十二日カフェテリア二階で開催しました。(詳細は五頁) (山崎統四郎、田中美子)

広報委員会

平成十三年度委員構成
柳屋道子・藤原聡子(看護)
西條富美代・石井恵美(理学)
萩原喜茂・浜口豊太(作業)
畦上恭彦・吉川千絵(言語)
菊地義信・清水慶昭(放射)
矢野 聡(経営)
岩本 操・本多 勇(福祉)
宮尾洋子・宮崎路子(語学)
石田 宏・山崎清彦・貝目 剛(情報メディア室)
細井良三(情報メディア室部長)
委員長：宮尾洋子 副委員長：矢野 聡

本年度IUHW発行予定日及び編集担当委員
38号：六月十一日 宮崎、矢野
39号：七月十六日 藤原、萩原
40号：十月二十二日 本多、柳屋
41号：十二月三日 菊地、吉川
42号：一月二十一日 清水、畦上、石井
43号：四月二十五日 西條、岩本、浜口 (宮尾洋子)

教務委員会

「海外保健福祉事情」は本学の特色ある科目です。平成十三年度の「海外保健福祉事情」は、夏休み期間の二週間、米国(ハワイ、ロスアンゼルス)、中国、オーストラリア、ヴェトナムの五ヶ所への研修の旅を通して、それぞれの国の保健福祉事情を学びます。どちらかというと我が国の保健福祉事情と比較できる程度の知識を身につけている方が学習成果が上がるのではないかと配慮のもと、二年生以上の学生に履修を薦めています。「百聞は一見に如かず」といいます。日頃の生活を質素にし、親からの金銭援助を最低限にする努力をして国際的視野を広げましょう。(杉原素子)

図書委員会

飯沼一浩図書館長のあとを受けて四月一日から図書館長に就任いたしました。大学図書館が医療福祉の分野での活躍を目指す学生や教職員にとって学習・研究・教育に必要な学術情報を取得できる場であることはもちろんですが、地域の人人々にとってもより豊かな学術的・文化的情報を手でできる場となるよう努力していきたいと思っております。平成十二年度の図書館の利用者数は四十四万人余りで、一日平均千五百人を超えております。多くの人にゆとりとした気分でご利用いただけるような図書館でありたいと思っております。(野原功全)

IUHWクイズ - 第25弾 - 当選者発表

ご応募ありがとうございました。
今回は少し難しかったのか、全問正解者はなんと6人！
その中で見事、抽選を突破した方は、桑原由香里(看護学科)さんです。
おめでとうございます。
学生証持参の上、L棟学生課までお越し下さい。
解答： (20) 鳥

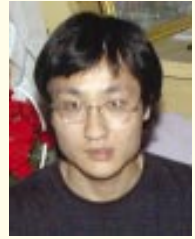


(5を意識した書き方をしていれば正解です。)

おめでとー



微笑の架け橋



皆さんも、手話にはよく存じだと思ひます。今回は自らも内耳性難聴で、現在、医師と患者さんの架け橋として、また医療事務職員として宇都宮内科病院に勤務していらつしやる、医療経営管理学科第一期卒業生であり総代も務めた高田孝宣さんにお話を伺いました。

医療経営管理学科を卒業して、現在はどういった仕事をしているのでしょうか？
 本部の事務局で、電話の応対をしたり物品管理をしたり、あと手話での通訳もやっています。

患者さんとのですか？
 はい。以前、診察の時に医師と患者さんの間に立つて手話通訳したとき、その患者さんがよく喜んでくれて、とてもうれしかったことが、記憶にありません。自分が必要とされているんじゃないかって思えて、医療経営管理学科を選んだのでしょうか？

最初、経済学部を目指してたんです。難聴といつてもほとんど健常者と変わりませんが、普通に仕事が出来ると変なプライドを持っていました。耳が悪いこともあり医療関係はいやだな思っていた時もありましたが、ある時、本学の医療経営管理学科という記事が新聞に載っていて、ただの経済学だけというのも面白くないかなと思ひ、受けてみようと思ったのがきっかけですね。

在学中、苦労したことはありましたか？
 何しろ医療経営管理学科は、出来立ての学科で先輩もいませんでしたから。学問も見るもの全てが初めてのことばかりで、何かから始めていいのかわからなかった。将来への不安を消すために、がむしゃらにどの学問でもいいから集中的に頑張りました。

んですよ。というの、ちょうどゼミが始まる頃、僕は医療経済学に興味があって、その方面のゼミをとっていたんです。ところがその先生が半年後アメリカへ行ってしまふということが急に決まってしまう。その時はほんとにビックリしました。それで紀伊國先生とゼミ生とで集まった結果、君らゼミを一つとりなさいという事に決まりました。ちょうど兼ねてから所属していた「医事研究会」という診療報酬に関するサークルがあって、その顧問の先生のゼミをもう一方のゼミに選ばせてもらったんです。

そういうわけで、とにかく授業の量が多くなってしまい、普通ゼミは週に二限なのですが、僕の場合、先ほどの理由でサブゼミを含め週に六限ゼミがある時期があったんです。

これがものすごくきつかったです。毎週レポートがあり、荷物もたくさんで、苦勞の連続でした。

先程、手話での通訳というお話がありました。在学中に覚えましたか？
 はい。就職活動中、病院ばかりじゃなくて一般企業も見ていかなければならぬと思ひ、自分でアポイントをとっているというところがあったんです。

ところが、面接で「ちょっと耳が悪い方は、何か、耳が悪いけど電話の対応は大丈夫か？」とかしよつちゅう聞かれたんです。健常者の方にとっては何でもないようなこと、例えば踏切の音とか背後からくる車の音とかに、常に注意しなければならぬんです。ですから、電話をとることも大変なことなんです。

もちろん、障害者雇用促進法というものもあり、そのセミナーが東京であったので行って来たのですが、当時大学の学部の知名度が低かったせい医療経営管理学科と言つても「・・・ん？」という感じでした。「病院とかにいった方がいれんじやないか」というようなことも言われまじやない。

そういうことでしたので、これは紀伊國先生にどなたか紹介してもらおうかなと思ひ、それで、現在働いている病院を紹介してもらったのですが、探

用条件が「手話が出来ること」だったんです。もうそれからは役所や職業安定所にある「入門講座はあるか？」とか、講習会はあるか？と聞いて回りました。その結果、ようやく「手話サークル」を見つけ入らせてもらったんです。

そのような体験をして、何か夢とか実現したいことはできましか？
 いろんな形で実現するかわからないですけど、福祉と医療の接点というものが、それぞれを持ち合わせた、障害者にもオープンになれるような地域に根付いた病院にしていきたいと思っています。

大学や後輩に向けてメッセージはありますか？
 全体的には明るいイメージの大学をこれから作って欲しいですね。そして学科の後輩へ。医療経営つてすごく幅広い概念だと思ひます。どの道へ行くか皆迷つてると思ひますが、自分ごとどこに進むにしろ夢だけは根底に持っていてほしいですね。

勉強の方もどれも大切ですが、原価計算論・簿記・診療報酬・経営学・社会保険論等は、僕は就職してからつくづく大切ななと感じました。財務諸表や表計算ができる能力がないと結局組織の舵取りが出来ませんから、時間を有効に使つてしっかりと頑張ってください。

高田さんはインタビューの中で患者さんと医師とを通じたことをとても生き生きと語ってくれました。あなたが卒業式の総代としてその大役を堂々と務めた姿が今も強く印象に残っています。これからも医療と福祉の架け橋として頑張ってください。本日は本当にありがとうございました。



編集後記

風薫る季節となりました。大学ではこの時期、心地よい風とともに、田んぼや畑の作物が生長するのに役立つ栄養分(?)の臭いも流れてきます。私も就任当時、講義の途中この臭いで辟易とした覚えがあります。しかし年を経るにつれ、この地域の季節感を表す風物詩と感じるようになりました。学生、教職員とも、この臭いに慣れてこそ、一人前の国際医療福祉大学スタッフといえるのかも知れません。

農作物は、農家の人によって耕し、種をまき、そして肥料をたっぷりと与えられて伸びやかに育ちます。彼らは自分たちの力で途中雨や風、そして虫や鳥などの障害をはねのけて、私たち人間のエネルギーのもととなるべく育つのです。おいしいお米やみずみずしい野菜をみると、自然に畏敬や感謝の念がわいてきます。

小紙も、学生・教職員が教養、人格の上で大きく伸びやかに育つのを助ける栄養分としてありたいと思ひます。豊富な話題と情報のエッセンスを食し、自立と成長のパワーにして欲しいと願っています。(矢野 聡)

★IUHW クイズ ~ 第26弾 ~★

今回は年に一度の英語クイズです。難しそうに見えますが、5つともイディオムですので辞書を引けばすぐ答えが見つかりますよ。解答用紙に答えを記入したら、切り取って事務局窓口外側にあるメールボックスに投入してください。正解者の中から抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は本学の学生で、1人1通、締め切りは6月25日です。

- A: Have you met him recently?
 B: No, but a little () told me that he got married.
- A: How are you today?
 B: I feel sick as a ().
- A: Will you please be quiet? I'm studying now.
 B: OK. I'll be quiet as a ().
- A: What do you think of the new president?
 B: Well, I think he's good, because he never changes () in midstream.
- A: He's just like a () on hot bricks today. Do you know why?
 B: His wife is about to give birth to their first child.

horses, mouse, cat, dog, bird

上記から選んでください。

■ 解答用紙

学科	学年
解答 1.	2.
3.	4.
5.	